

オ 行政事務を効率的に行うための機能	
整備する機能	導入すべき施設・設備等
a 執務空間の整備	①組織改編、機構改革にも柔軟に対応できる執務スペースの確保 ・ <u>オープンフロア方式</u> ※ ₁ の執務スペース ・間仕切りがなくレイアウト変更にも対応できる執務スペース ・1部局ワンフロアとし、部局が分散しない庁舎 ②レイアウト変更に対応可能な照明設備の設置 ③レイアウト変更に対応可能なLAN端末※ ₂ 、コンセント位置 ④レイアウト変更がしやすいエレベーター等設備の配置 ⑤空調、換気、照明設備は、ゾーンや時間に合わせて分割管理可能なシステムの導入 ⑥執務スペースのバリアフリー化（身体障害者の職員採用） ⑦各執務スペースに打合せ・作業スペースの確保 ⑧執務スペースと通路の仕切りはローカウンターとして、オープンで明るい空間
b 会議室等の整備	①各フロアに一定数の共有会議室の確保 ②大会議室は、間仕切り等で分割使用が可能な構造 ③様々な利用に対応できるよう、 <u>LAN環境</u> ※ ₃ や映像・音響設備の設置 ④通常は市民が憩う多目的スペースとして利用し、必要時には間仕切りをして会議室として利用できるスペースの確保
c 書庫及び倉庫の配置	①執務スペース内に壁面、床下等を利用した書類の収納スペースの確保 ②効率的な執務環境の維持に必要な書庫・倉庫を共用で各フロアに設置 ③庁舎内に保存文書を保管できる書庫及び倉庫の設置 ④庁舎内に戸籍関係等の重要保存文書用の耐火書庫の設置 ⑤保存文書が容易に検索できる機能を持った設備
d その他機能の整備	① <u>ノンテリトリアルオフィス</u> ※ ₄ （オフィス内のデスクや設備を個人ごとに割り当てず、複数の職員で共同使用する形態）を導入し、創造豊かな職場環境を作る ②時間外勤務を行う職員が集まって事務ができるスペースを各フロアに設置（照明・冷暖房等の節約） ③設定温度を保つため、1か所で集中コントロールできる空調機能 ④各フロアや各部屋単位で運転できる空調設備 ⑤照明機器のゾーニング点灯機能 ⑥各部屋単位で音量調整できる館内放送設備

※庁内ワーキンググループによる検討結果

カ 高度情報化に対応するための機能	
整備する機能	導入すべき施設・設備等
a サーバ室、情報管理室の整備	①サーバ※ ₅ など重要な情報機器の設置場所の確保 ②安全な環境設備を備えたサーバ室※ ₆ の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・すべての重要な情報機器の集約・設置 ・水害等に備えて、2階以上の階層に設置 ・情報機器の保護のため、耐火、耐熱、耐水及び耐湿性の確保 ・火災発生時に備え、機器類に影響の少ないガス消火設備の設置 ・2系統以上の冷却設備を設置 ・停電時に備え、非常用電源・無停電装置の設置 ・入退室に係るセキュリティ対策の強化 ③将来の情報化の進展等を踏まえ、必要なスペースの確保
b O Aフロアの整備	①ネットワーク回線の物理的な破壊（切断等）の危険性の回避 ②配線の更新が容易なO Aフロア※ ₇ 、電線管による配線 ③机等のレイアウトの変更に影響されないフリーアクセスフロア※ ₈ 構造の採用
c その他機能の整備	①サーバ室、端末機器等に対して、静脈認証等の採用などセキュリティに関し、更なるハード的な対処 ②会議室に大型モニター、プロジェクター等の視聴覚設備及び音響機器の設置 ③事務室や会議室において、各自のパソコン画面上で会議ができる機能 ④会議欠席者が視聴できるデジタル録画、録音機能 ⑤コミセン等の出先機関との間に電話・F A X専用線の設置 ⑥W I - F I スポット※ ₉ の設置 ⑦庁内無線L A Nの導入 ⑧セキュリティ保持のためには、有線L A Nが良い

キ 環境と共生するための機能	
整備する機能	導入すべき施設・設備等
a 自然光・自然通風の利用	①自然光を有効利用した配光計画された庁舎 ②照明に自然光、空調に太陽熱を利用する庁舎 ③天窗等を設置し、自然光を活用する庁舎 ④自然通風を有効利用した換気システムなど空調設備等の設置 ⑤庁舎内室温の上昇を低減するため、屋上や壁面の緑化の導入 ⑥庁舎内室温をさげるため、庁舎南面にミスト機能を設置

※庁内ワーキンググループによる検討結果

<p>b 再生可能エネルギーの活用</p>	<p>①太陽光発電設備及び蓄電池、風力発電設備等の設置 ②雨水をトイレ洗浄等に活用できる貯水槽の設置など、節水型の庁舎機能 ③水をリサイクルするための中水道施設の設置 ④太陽光発電設備や森林資源を使ったバイオマス発電^{※10}設備等の再生可能エネルギー設備を設置し、発電状況をパネル表示するなどして、市民にPRできる機能</p>
<p>c 省エネルギー機器・設備の導入</p>	<p>①空調設備など効率的で省エネ基準を満たす設備の導入 ②空調は各部屋で独立運転が可能なものの導入 ③空調設備は省エネを図るため、一律管理できる集中管理室を設置 ④照明機器のLED化による省電力化 ⑤熱効率の高い熱源機器（ボイラー設備等）の導入 ⑥建物への熱負荷の低減のため、断熱性の高い材料や構造の採用</p>
<p>d ライフサイクルコスト低減</p>	<p>①建設時の建設副産物の発生抑制及び再資源化 ②環境負荷の少ない材料（エコマテリアル^{※11}）、リサイクルが容易な材料等の採用 ③庁舎の長寿命化が図れる建築構造と材料の選択</p>
<p>e 周辺環境等への配慮</p>	<p>①周辺環境との調和をはかり、良好な景観づくりに配慮 ②周辺の自然環境に適した植栽 ③木のまちかぬまを意匠的にアピールできる庁舎（木材利用・木質化） ④市のシンボリック施設として、木をふんだんに使った庁舎 ⑤市内の森林資源である建築材をより多く使い、地産地消の重要性と地元の資源の良さをPRできる機能</p>

ク 庁舎維持管理・セキュリティに必要な機能

整備する機能	導入すべき施設・設備等
<p>a 庁舎の維持管理</p>	<p>①デザインより機能やメンテナンスを優先した庁舎設計 ②庁舎設計はオーソドックスな形とし、屋根は切妻型とする ③庁舎の低層化によるメンテナンス性の向上 ④設備、電気機器のメンテナンス性に優れた庁舎設計 ⑤執務スペースのレイアウト変更に対応できる電源や通信ケーブル等の敷設 ⑥庁舎規模に応じた消防設備、非常用電源の設置 ⑦売店等のスペースを民間に貸し出して、維持管理費を補充する ⑧自然採光、通風に配慮した省エネ型庁舎</p>

※庁内ワーキンググループによる検討結果

<p>b ライフサイクルコストへの配慮</p>	<p>①建物のスケルトン（柱・梁・床等の構造躯体）※12とインフィル（内装・設備等）※13を分離し工法等により、維持管理や修繕が容易で、計画的な設備の更新にも対応しやすい構造の検討</p> <p>②環境負荷の少ない材料（エコマテリアル）、リサイクルが容易な材料等の採用</p>
<p>c 個人や行政情報の管理</p>	<p>①執務スペースと来庁者対応スペースの分離</p> <p>②市民と職員の動線を分離・制限し、ゾーンにあったセキュリティ対策の導入</p> <p>③窓口カウンターの出入り口に扉を設置</p> <p>④ワンストップサービスにより、バックオフィス※14の隔離</p> <p>⑤各出入口に録画機能付防犯カメラの設置</p>
<p>d 夜間・休日のセキュリティ管理</p>	<p>①窓口と執務スペースを遮断できるシャッター等の設置</p> <p>②個人情報保護、防犯のため、事務室等の施錠機能の導入</p> <p>③入庁者（職員を含む）に対するセキュリティシステム（IDカード等）の導入</p> <p>④夜間会議等を行う場合に、事務室を通らずに会議室に行けるようなレイアウト</p> <p>⑤休日に市民等が利用できるトイレの設置（警備室横など）</p> <p>⑥休日やイベントの際の一般開放エリアと閉鎖エリアの明確な分離</p>
<p>e その他機能の整備</p>	<p>①重要書類用の書庫スペースの確保</p> <p>②十分に余裕ある受電設備の設置</p> <p>③非常電源からの配線と一般商用電源の系統別配線（特に防火用電源とサーバ系電源の分離）</p>